

令和元年6月27日



担当課	総務企画課
担当者	福島・岩垣
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（細菌性赤痢）について

病名	細菌性赤痢
患者	和歌山市内在住 20歳代 女性
届出年月日	令和元年6月26日
経過	<p>6月15日（土）腹痛、下痢 6月17日（月）発熱、下痢、腹痛にて 医療機関受診</p> <p>6月26日（水）便検査の結果 赤痢菌と判明 主治医より届出</p> <p>現在、回復しています。</p>

プライバシーの保護については、十分なご配慮をお願いします。

<細菌性赤痢の症状等>

世界中で広くみられる感染症で、特に衛生状態の悪い国に多くみられます。

和歌山市内での発生は、過去5年間ありません。

細菌性赤痢は、赤痢菌の経口感染で起こる急性感染性大腸炎です。

潜伏期は1～5日、多くは3日以内です。

主要病変は大腸、特にS状結腸の粘膜の出血性化膿性炎症、潰瘍を形成することもあります。このため、発熱、下痢、腹痛を伴うテネスマス（tenesmus；しぶり腹ー便意は強いがなかなか排便できないこと）、膿・粘血便の排泄などの赤痢特有の症状を呈します。

近年、軽症下痢あるいは無症状に経過する例が多いです。

トイレの後や食事前の手洗いを石鹸と流水でしっかり行うことが感染防止対策になります。